

特集 社長インタビュー

平成から令和へと時代が変わる今期こそ悲願の コミット600を達成し新時代の良いスタートを切ると共に 継続成長の基礎をしっかりと築きます。



全国に流通センターが完備、EC事業やイザメシ 事業の躍進、グループ会社の統合などさらなる成 長に向けての基礎作りを行い、第73期の決算を 締めくくることができました。今年度は、生産性 のさらなる向上を図ってまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く 御礼申し上げます。当事業年度(2018年4月1日から 2019年3月31日まで)の「株主通信」をお届けするに あたりまして、皆さまからの日頃のご支援に対し心より 厚く御礼申し上げます。

Q 第73期の総括

創業80周年を節目に「コミット600」をスローガンに掲げ スタートした中期経営計画の最終年が終わりました。既存事 業におきましては、北海道、近畿、中部、東京、直需等の営 業部はまずまずの結果で着地しましたが、それ以外の営業部 が苦戦しました。売上は、人材不足、資材不足による工事の 遅延などにより当初の見込みを下回る結果となりました。 利益についても人員補強のための採用費や人材育成のための 教育費の増加、福岡流通センター新設に伴う経費の先行投資、 配送コストの上昇なども影響し、当初の見込みを下回る結果 となりました。

当社グループの業績は、売上高 57.855 百万円(前連結会計

年度比 1.4%増)、営業利益 547 百万円(同 37.9%減)、経常 利益 648 百万円(同 35.1%減)、親会社株主に帰属する当期 純利益 454 百万円(同 28.7%減)となりました。

Q コミット 600 の最終年を振り返って

68 期より中期5ヵ年計画を策定しました。それは「コミット600」と「20:20(トゥエンティー・トゥエンテイー)」です。 2018 年に年商600億円を達成し、東京オリンピックが開催される 2020 年には営業利益 20 億円を達成するという目標です。

毎年大きく成長を続ける IZAMESHI ですが、目標の 4 億円をクリアし対前年比で 130% を超えました。

市場のカバーと卸としての基盤を毎年強化してきましたが、 73 期は福岡流通センターが新規オープンし、九州地区のデリ バリーも大幅に強化されました。

住宅着工件数、賃貸集合住宅着工件数が共に前年比マイナスとなり、それに連動する形でルート営業は苦戦を強いられる結果となりました。

昨年の4月に連結子会社のヨネミツエース株式会社を吸収合併し、大分営業所と長崎営業所としてスタートを切りました。取扱い商品数の拡大に伴い、九州エリアの営業が強化されましたので今後の成長が期待されます。残念ながらコミット600は達成できませんでしたが、74期も継続し、必ず達成させたいと考えております。

Q 第74期にむけての事業戦略

平成から令和へと時代はバトンタッチされました。2020 年には東京オリンピック、2025 年には大阪万博と大きな国家プロジェクトが目前に控えております。新時代に合わせさまざまなチャレンジを続けてまいります。より多くのユーザーに使っていただけるように開発を進めてきた新 EC サイト「スギカウ」



覧、CAD 図面 (DXF) のダウンロード機能に加えて商品のご購入が可能となりました。

ルート営業では、ここ数年移動時間の短縮と地域ニーズの 深掘りにより市場カバーの強化を目指してきましたが、今年度 は、富士市にサテライト倉庫を新設する計画です。

イザメシ事業では、夏に缶詰めなどの新アイテムを発売します。昨年度発表した災害時に利用する簡易トイレ「minimLET | ミニムレット」に続き、手動発電式バッテリー「denqul | デンクル」も発売しました。イザメシから始まったさまざまな新商品の販売と飲食を目的とした「イザメシカフェ」第一号店も出店する計画です。

人事面におきましては、働き方改革を実践してきましたが、 今期は生産性の向上を大きな目標として取り組んでまいります。

ルート営業に代表される既存事業と新規事業は車の両輪です。今期は社員の英知を結集し、コミット 600 を必ず達成する所存であります。

今後とも、倍旧のご支援とご協力を賜りますよう、宜しく お願い申し上げます。

News Digest

ニュースダイジェスト

2018年4月~2019年3月

2018年

災害食大賞 2018 のうまみ部門にて、「IZAMESHI Deli スパイシーチキンカレー」が銅賞を受賞

「IZAMESHI Deli」シリーズは化学調味料を使わず、素材本来の味を活かし、備蓄はもちろん、普段の食卓のおかずとして、海や山など旅行の携帯食として様々なシーンで便利にご使用いただけます。







2018年

6月 建築金物見本市 SUGIFES2018 開催

杉田エースは、6月 29日(金)・6月 30日 (土) の2日間、東 京ドームシティでで、 「SUGIFES(スギース) 2018」を開催いたしました。大勢に を はいたしました。大勢に きまして、大盛況の うちに幕をした。 とができました。



2018年

7月 福岡営業所および福岡流通センター移転

当社は九州地区へのサービス向上を目指し、7月17日、福岡第1、第2営業所と福岡流通センターを新事務所へ移転しました。新流通センターは昨年より1.6倍の在庫商品を用意し、お客様のご要望に応えてまいります。 [住所] 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3丁目12-12



2018年

9月 第 86 回東京インターナショナル ギフト・ショー 秋 2018 に出展



2018年

月 日本を代表する建築家・デザイナーとコラボした新製品のスペシャルエキシビションを南青山・クラブエスタショップにて開催

SUPPOSE DESIGN OFFICEがデザインした新作パティオプティの「間と余白」がコンセプトの「MA Series | マ・シリーズ」を初披露しました。さらに、nendoが手がけた手動発電式バッテリー「denqul | デンクル」のプロトタイプを展示いたしました。







2018年

Op 佐藤オオキ率いるデザインオフィス nendo と共同開発 した簡易トイレ「minimLET | ミニムレット」販売開始

「minimLET」は、身のまわりのものを「流用」し「兼任」するミニマルな簡易トイレです。便座、ポリエステル製テント、アルミ製パイプ、ポケットティッシュ、ウェットティッシュ、ゴミ袋と凝固剤の7つのアイテムを一つのバッグに収納しコンパクトに保管することができます。



2019年

3月

手動発電式バッテリー「dengul」を発売

「denqul」は常に持ち歩くのではなく、充電された状態でご自宅に常備しておき"非常時にそれを持って避難することを想定したバッテリー"です。小物入れと一体化したクレードル(充電台)は、スマートフォンやメガネなどと一緒に保管しておけるデザインで、見えるところに常備しておけるように開発しました。スティック状のバッテリーは、片手で振り回し発電できる新方式です。



2019年



「IZAMESHI ブランドサイト」リニューアルオープン!



Announcement

谷尻誠、吉田愛率いる建築設計事務所 SUPPOSE DESIGN OFFICEがデザインを手がけた **FPATIO PETITE - MA Series -**(パティオ・プティ・マ・シリーズ・) | の発売

「MA Series」は"間と余白のあるアウトドアファニチャー"をコンセプトに素材やデザインに加え、スケール感も高 級感を生み出すものであるととらえ誕生しました。大きなひじ掛け、奥行のある座面、テーブルの余白のスペースな ど広さを感じられる設計を施すことにより、ゆったりと寛いだり、本、グラス、フラワーベースやランプを置いたり、 用途や空間により多様なシーンが生まれます。(SUPPOSE DESIGN OFFICE)の谷尻誠さんと吉田愛さん、日本を 代表する2人の建築家が考案した家具シリーズ〈MA Series〉のコンセプトは「間と余白」。建築家ならではの視点で 幾度も試作を重ね、いよいよ 2019 年、アウトドアファニチャーブランド (PATIO PETITE) へのラインアップが確 定しました。

「日本の住宅には、家の中に居ながら外を感じられる縁側のような半屋外スペースが必ずありましたが、時代とともに 効率重視の間取りが主流になり、窓一枚隔てた家の外が断絶された場所になっていきました。そんな中、アウトドア 家具というプロダクトを通して、半屋外で過ごす心地よい時間を提案したいと考え、デザインを進めました。住まい に縁側のようなスペースがある、あの心地よさを感じてもらうためのデザインです | (吉田さん)。

黒いフレームが印象的な〈MA Series〉のアウトドア家具には、心地よい時間をもたらすための「間と余白」があち こちに仕込まれている。



MA-SOFA SINGLE 〈MAーソファ・シングル〉

籠目をモチーフに編み上げた 人工ラタンのソファシリーズ。 2つ合わせれば、ベンチソファ としても使うことができます。 付属のクッションは、肘掛け としても使用可能。



MA-SOFA SINGLE WITH SIDE TABLE 〈MA-ソファ・シングル・ サイドテーブル付き〉

サイドテーブル付きソファ。ソ ファ・シングルは、テーブル ます。



MA-SOFA DOUBLE WITH SIDE TABLE 〈MAーソファ・ダブル・サイ ドテーブル付き〉

サイドテーブル付きソファ。ソ ファ・ダブルは、サイドテーブ とソファが一体型になってい ルを好きな位置に移動するこ とが可能です。



MA-LOW TABLE 〈MAーローテーブル〉

畳をモチーフに編み上げた 人エラタンの天板が美しい ローテーブル。さまざまな楽 しみ方ができるスクエアタイ プです。※トレイは別売り



MA-TRAY FOR LOW TABLE 〈MA-ローテーブル用トレイ〉

〈MA-LOW TABLE〉とセット で使用。飲み物や植物などを トレイの上に置くことで、テー ブルの中にモノの居場所と"余 白"が生まれます。





MA-DINING 2 〈MAーダイニング・2人掛け〉

小さなバルコニーでに使える、 人エラタン天板の 2人掛け テーブル。使用人数や用途に よって、〈MA-DINING 4〉と組 シリーズを組み合わせても。 み合わせても。



MA-DINING 4 〈MAーダイニング・4人掛け〉

畳をモチーフに編み上げた人 エラタン天板の 4人掛けテー ブル。使う人数に合わせて同



MA-CHAIR 〈MA ーチェア〉

スタッキング可能なダイニング ズとセットでお使いいただけま げた人工ラタンはクッション性 可能です。 抜群。



MA-BED 〈MA ーベッド〉

座面を黒いアウトラインでぐ 畳をモチーフに編み上げた人 チェア。〈MA-DINING〉シリー るりと囲み、周りとの"間"(境 界線)を作ったベッド。背も テーブル。〈MA-BED〉と組み す。籠目をモチーフに編み上 たれが 6段階にリクライニング 合わせても。

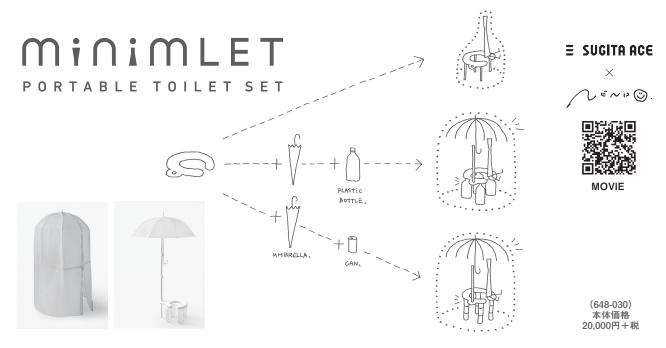


MA-SIDE TABLE 〈MAーサイドテーブル〉

エラタンのコンパクトなサイド

New Product

身のまわりのものを「流用」し 「兼任」 するミニマルな簡易トイレ 「minimLET | ミニムレット」



軽量でコンパクトに 収納可能

構成要素を、便座、ポリエステル製テント、アルミ製パイプ、ポケットティッシュ、ウェットティッシュ、ゴミ袋と凝固剤の 7つのアイテムに絞り込み、軽量かつコンパクトに収納ができます。全てのアイテムを収納したバッグは、最厚部でも約 100mmとスリムなため、複数重ねて保管したり、車のトランクに入れたりしても場所をとりません。



日常生活で 使われているものを「流用」

現代の都市空間における様々な日用品や廃材を活用します。

- ・ビニール傘=テント組み立て時の骨組み
- ・スチール製の「缶」×3缶=便座の脚1本
- ・2ℓサイズの「ペットボトル」× 1本=便座の脚 1本



複数の役割を 「兼任」させ最大限利用

各アイテムに、それぞれの機能以上の用途 を持たせました。

- ・便座=細かいパーツを収納する容器
- ・バッグ=約 15 Ø 分の生活用水の運搬ができるバケツ(約 2回分のトイレを流せる量)
- ・アルミ製のパイプ=テントの補助用支柱、便 座用脚





New Product

非常時に備えた 手動発電式バッテリー「dengul | デンクル」

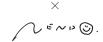
dengul CAPACITY:3AV/500

dengui

MANUAL POWER GENERATOR-TYPE BATTERY

http://denqul.jp/

E SUGITA ACE





MOVIE

「denqul」は、"非常時に持ち出しすぐに使用できるバッテリー"をコンセプトに開発されました。そのため、平時は、スティック状のバッテリーをクレードル(充電台)で AC電源から充電しながら常備します。携行する際は、クレードルから取り外し、バッテリーが無くなった場合には手動で充電が可能です。手動で蓄電する際は、バッテリーの内筒を引き伸ばし、L字に折り曲げた後、片手で振ることで充電されます。遠心力を利用することにより、一般的な手回し式バッテリーに比べ少ない力で充電することができます。1.5回転/秒を約10分間回転させることで、スマートフォンの場合には、約10分間の通話が可能です。クレードルには、スマートフォンケースと多目的ケースが一体化されているため、非常時に持ち合わせたいアイテムなどを収納することができます。インテリアにも溶け込むシンプルなデザインが特長で、グレー、ベージュ、ブルーの全3色で展開します。



グレー (640-000)



ベージュ (640-001)



ブルー (640-002)

denqul デンクル

本体価格 10,000円+税 ※写真はベージュ



2WAY充電方式だから いざという時も安心



片手の小さな力で 充電可能



目につく場所に置き、いつでも手に取れるデザイン

Financial Highlights

業績・財務ハイライト

営業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、 雇用・所得環境が改善される中で、緩やかな 回復基調が続きましたが、原油価格の上昇、 天候不順による自然災害、慢性的な人手不足、 米中の貿易紛争や英国のEU離脱問題等の 懸念材料も多く、先行き不透明な状況で推移 しました。

住宅建設業界におきましては、持家の着 工は持ち直しの動きが見られましたが、貸家 の着工は緩やかに減少し、分譲住宅の着工、 首都圏のマンション販売戸数は共に横ばいと なり、全体的には横ばいで推移しました。

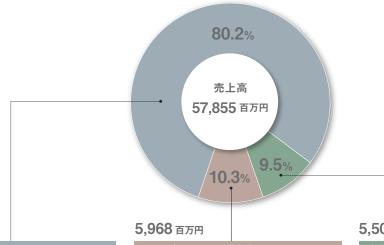
このような状況の中、当社グループは、4月に連結子会社のヨネミツエース株式会社を吸収合併し、大分営業所、長崎営業所を新設し、九州地区のエリアカバーの強化を図りました。更に7月には福岡第一・第二営業所及び福岡流通センターを新設・移転し、営業と物流機能のサービス向上を図りました。

業績につきましては、売上高は販売活動の 強化に努めましたが、建設業界の人手不足・ 資材不足による工期遅延等の影響を受け、当 初の見込みを下回る結果となりました。利益 は、人員補強のための採用費、人材育成のた めの教育研修費及び福岡流通センター新設 に伴う経費の先行投資の増加、また配送コストの上昇も影響し、営業利益、経常利益及び 親会社株主に帰属する当期純利益は当初の 見込みを下回りました。

この結果、当連結会計年度における当社 グループの業績は、売上高 57,855 百万円 (前連結会計年度比 1.4%増)、営業利益 547 百万円(同 37.9%減)、経常利益 648 百万円(同 35.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利 益 454 百万円(同 28,7%減) となりました。



セグメント状況



46,379 百万円

ルート事業

ルート事業は、住宅用資材及びビル用 資材等を、二次卸・金物店・建材店等 へ販売しております。

住宅用資材は、建具商品、インテリア商材、建設副資材等の販売が堅調に推移しました。 一方、ビル用資材は福祉商品、エクステリア関連商品は堅調に推移しましたが、窓廻り関連商品、外装商品は工期遅延等により納入時期の遅れにより低調に推移しました。

この結果、ルート事業全体の売上高は 46,379 百万円(前連結会計年度比 1.1% 増)となりました。

エンジニアリング事業

エンジニアリング事業は、住宅用資材 及びビル用資材等を、建材店・販売工事 店等へ、独自のノウハウによる設計・加工・ 施工等の付加価値を加味して販売してお ります。

エンジニアリング事業に関わる物件は、 民間再開発や公共投資等で堅調に推移し ましたが、職人不足や高力ボルト等の資材 不足により工期遅延が見受けられました。

住宅用資材は、マンション商品とイン テリア商品が低調に推移しましたが、建 具商品と建設副資材は好調に推移しまし た。ビル用資材は、屋上ベランダ商品、 外装商品が低調に推移しました。

この結果、エンジニアリング事業全体 の売上高は 5,968 百万円 (前連結会計年 度比 1.2%減) となりました。 5,507 百万円

直需事業

直需事業は、ホームセンター、通販会社、 百貨店等、一般小売店向けのDIY商品、 及びOEM関連資材、その他商品を販売 しております。

DIY商品は、ホームセンター向けの アルミ建材、防災用簡易トイレ等の防災 関連商材、耐震関連商材がそれぞれ堅調 に推移しました。また、一般顧客への直 接販売、百貨店ルートへのギフト需要も 好調に推移しました。

OEM関連資材は、戸建て住宅用商材 は横ばいで推移しましたが、ポストや宅 配ボックス等の集合住宅向け商材が好調 に推移しました。

この結果、直需事業全体の売上高は 5,507 百万円 (前連結会計年度比 6.9%増) となりました。

Financial Statements

決算レポート

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第72期 2018年3月31日現在	第73期 2019年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	23,503	23,841
現金及び預金	2,514	2,527
受取手形及び売掛金	14,807	14,930
電子記録債権	1,516	1,604
たな卸資産	3,289	3,437
未収入金	1,338	1,301
その他	41	49
貸倒引当金	△ 4	△8
固定資産	7,608	7,376
有形固定資産	5,286	5,165
建物及び構築物	2,134	2,321
土地	2,873	2,713
その他	279	130
無形固定資産	306	352
ソフトウェア	60	223
その他	246	129
小次その外の次 音	0.016	1 050
投資その他の資産	2,016	1,859
投資有価証券	1,057	998
繰延税金資産	259	221
その他	698	638
資 産 合 計	31,111	31,218

科目	第72期 2018年3月31日現在	第73期 2019年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	18,271	18,562
支払手形及び買掛金	6,772	7,061
電子記録債務	9,199	9,588
1年内返済予定の長期借入金	651	470
未払法人税等	384	300
賞与引当金	318	317
その他	944	823
固定負債	3,243	2,790
長期借入金	2,191	1,721
退職給付に係る負債	449	438
役員退職慰労引当金	457	488
その他	145	141
負債合計	21,514	21,352
(純資産の部)		
株主資本	9,555	9,848
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	8,452	8,746
自己株式	△ 4	△ 4
その他の包括利益累計額	41	17
その他有価証券評価差額金	88	46
退職給付に係る調整累計額	△ 47	△ 29
非支配株主持分	0	0
純資産合計	9,597	9,866
負債純資産合計	31,111	31,218

⁽注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第72期 自 2017年4月1日 至 2018年3月31日	第73期 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売 上 高	57,062	57,855
売 上 原 価	48,801	49,520
売 上 総 利 益	8,260	8,335
販売費及び一般管理費	7,379	7,788
営業利益	880	547
営 業 外 収 益	205	194
受取利息	1	1
受取配当金	22	19
仕入割引	122	119
受取家賃	36	41
その他	21	13
営業外費用	86	93
支払利息	13	9
手形売却損	13	16
売上割引	57	56
その他	1	10
経常利益	999	648
特別利益	30	169
固定資産売却益	30	169
特別損失	0	35
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	_	10
ゴルフ会員権評価損	_	21
ゴルフ会員権売却損	_	3
税金等調整前当期純利益	1,029	783
法人税、住民税及び事業税	384	292
法 人 税 等 調 整 額	8	36
当期純利益	637	454
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	637	454

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

第72期 自 2017年4月1日	第73期
至 2018年3月31日	自 2018 年 4 月 1 日 至 2019 年 3 月 31 日
1,209	909
△ 545	△ 84
△ 601	△ 812
62	12
2,451	2,514
2,514	2,527
	△ 545 △ 601 62 2,451

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主	4-bitm-t- 4 = 1	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	持分	純資産合計
当期首残高	697	409	8,452	△ 4	9,555	88	△ 47	41	0	9,597
当期変動額										
剰余金の配当	-	-	△ 160	-	△ 160	-	-	-	-	△ 160
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	454	-	454	-	-	-	-	454
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	-	-	-	-	-	△ 41	17	△ 24	0	△ 24
当期変動額合計	-	-	293	-	293	△ 41	17	△ 24	0	269
当期末残高	697	409	8,746	△ 4	9,848	46	△ 29	17	0	9,866

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Stock Data

株式情報

株式の状況

(2019年3月31日現在)

- ①会社が発行する株式の総数 普通株式 19,490,000 株
- ②発行済株式の総数 普通

普通株式 5,374,000 株

3株主数

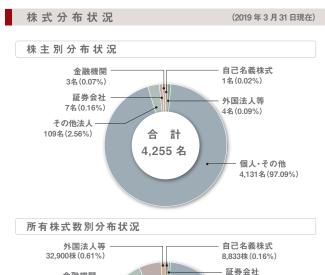
4,255 名

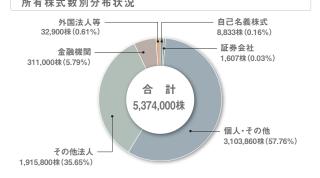
大株主

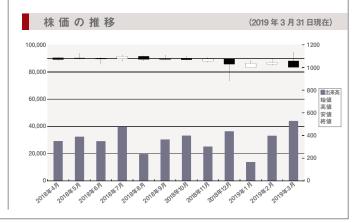
(2019年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
杉田直良	906,000 株	16.89%
有限会社 杉田商事	730,000 株	13.61%
杉田エース従業員持株会	260,812 株	4.86%
杉田裕介	260,000 株	4.85%
株式会社 三井住友銀行	195,000 株	3.63%
東京中小企業投資育成 株式会社	159,500 株	2.97%
株式会社 ナスタ	117,800 株	2.20%
株式会社 ダイケン	93,800 株	1.75%
株式会社 千葉銀行	72,000 株	1.34%
杉田力介	70,000 株	1.30%

(注) 持株比率は自己株式 (8,833 株) を控除して計算しております。







Corporate Data

会社情報

会社概要

(2019年4月1日現在)

商 号 杉田エース株式会社

所 在 地 東京都墨田区緑二丁目 14 番 15 号

設 立 1948年9月

資本金 697.240.600 円

従業員数 537 名 (グループ合計)

主 な 当社は、住宅用資材、ビル用資材、DIY 事業内容 商品及び特定需要家向け OEM 関連資材

及び自社ブランド商品の卸売業を行って

おります。

主な事業所

(2019年4月1日現在)

本社事務所 東京都墨田区緑二丁目 14 番 15 号

営業部等 北海道・東北・東京・西関東・北関東・

中部・近畿・中四国・南日本・エンジ

ニアリング・直需

流通センター 札幌・仙台・東京・千葉・成田・埼玉・

大宮・名古屋・大阪・福岡

グループ会社 水沢エース株式会社

取締役及び監査役並びに執行役員 (2019年6月27日現在)

代表	取	締	役会	長	杉	田	直	良
代表	₹取	締	役 社	長	杉	田	裕	介
常	務	取	締	役	佐	藤		正
常	務	取	締	役	杉	田	カ	介
取		締		役	我	謝	宗	厚
取		締		役	花	井	慎	-
取		締		役	髙	橋	芳	郎
取		締		役	島	田	直	樹
常	勤	監	査	役	北	JII	達	也
監		査		役	内	山	芳	男
監		査		役	貫	井	康	夫
執	行		役	員	瀧	山	吉	彦
執	行		役	員	大	石	尋	貴
執	行		役	員	蜷	木	勝	-
執	行		役	員	福	山	潤之	輔
執	行		役	員	滝		昇	悟
執	行		役	員	/ \	林		寛
執	行		役	員	昆	布	光	正
執	行		役	員	井	関		誠
執	行		役	員	上	田	嘉	信
執	行		役	員	清	野	賢	太
執	行		役	員	黒	모	高	広
執	行		役	員	岡	田		努
執	行		役	員	萩	原	裕	司

⁽注) 1. 取締役 島田直樹氏は社外取締役であります。

^{2.} 監査役 内山芳男・貫井康夫の両氏は社外監査役であります。

株主優待制度のご案内

毎年3月末日現在の、株主名簿に記録されている100株以上ご所有の株主の皆さまを対象に、当社取扱商品を贈呈します。 2019 年 3 月期末は「IZAMESHI (イザメシ)」1セットを贈呈します。



株主メモ(株式のご案内)

■事業年度 ■定時株主総会 毎年4月1日から翌年3月31日まで

毎年6月開催

■基準日

定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、 予め公告して定めた日

■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

■株主名簿管理人 事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目 4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先)

〒 168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 200 ® 0120-782-031 (インターネットホームページ URL)

https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

■公告掲載新聞 日本経済新聞

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及び ご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口 座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。